

国際スポーツイベントに関する調査 第2回

— 調査結果 —

2015/03/30 Vol.02

楽天リサーチ株式会社

<http://research.rakuten.co.jp/>

■ データの二次利用について

- ・ 貴社内、及び貴社のお取引様へのプレゼンテーション等、関係者間での二次利用は可能とします。
- ・ 本資料の調査結果を広告制作物に活用する等、不特定多数に公開する形での二次利用は厳禁とします。

※今回ご提供させていただいております調査結果データは抜粋版となります。

その他様々な調査結果を保有しておりますので、詳細部分までご興味のある方は弊社担当営業までご連絡いただければと思います。

調査概要

調査目的	今回の調査の目的は、2020年に開催される国際スポーツイベントに関する意識や興味、及び競技についての意識が、東京での開催が決定した直後の結果と比べ、どのように変化したかについて把握することにあった。																																
調査地域	全国																																
調査手法	インターネット調査																																
調査対象者	【性別】 男女 【年齢】 15～69歳																																
対象者数	2400サンプル <本調査割付> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>10代</th><th>20代</th><th>30代</th><th>40代</th><th>50代</th><th>60代</th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><th>男性</th><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>1200</td></tr><tr><th>女性</th><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>1200</td></tr><tr><th>計</th><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>2400</td></tr></tbody></table> <p>※初回調査:2012年10月1日時点の人口推計比に準じて、性別×年代×地域別にウェイトバック集計を行った。 ※今回調査:2013年10月1日時点の人口推計比に準じて、性別×年代×地域別にウェイトバック集計を行った。</p>		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	男性	200	200	200	200	200	200	1200	女性	200	200	200	200	200	200	1200	計	400	400	400	400	400	400	2400
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計																										
男性	200	200	200	200	200	200	1200																										
女性	200	200	200	200	200	200	1200																										
計	400	400	400	400	400	400	2400																										
実施期間	初回調査:2013年10月11日(金)～10月15日(火) 今回調査:2015年2月27日(金)～3月3日(火)																																
実施機関	楽天リサーチ株式会社																																

調査結果要約

国際スポーツイベントに対する興味・意識

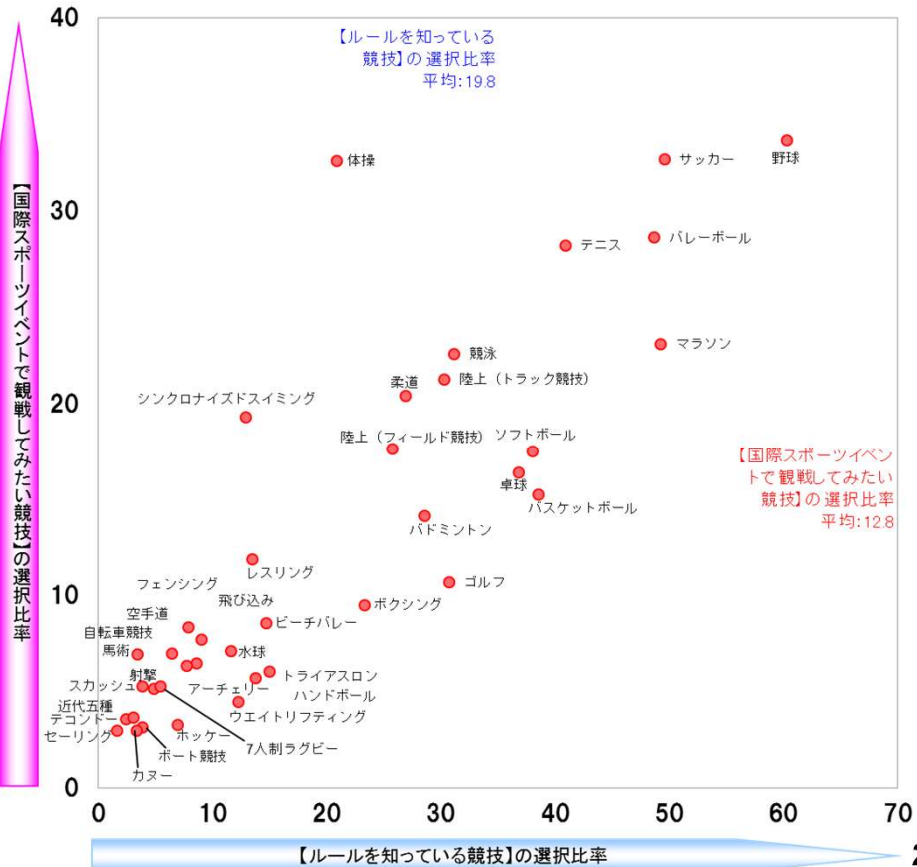
- ◆ 興味度は前回(2013年)と比べてやや減少したものの、依然として高い水準を維持している。
- ◆ 国際スポーツイベントについて知りたい情報は、「各競技の開催スケジュール」などのスケジュール関連や「国際スポーツイベントの開催情報全般」が上位。前回と比べて減少傾向にあるものの、上位項目に変化はない。
- ◆ 国際スポーツイベント開催までの生活に変化があると考える人は6割強。変化の内容としては「景気がよくなると思う」がトップ。その他、スポーツに触れる機会、メディアを利用する機会が増加するという意見が上位。
- ◆ 国際スポーツイベント公式商品として想定される9アイテムのいずれかについて購入意向がある人は37.5%(購入者も含む)。商品別の購入意向は、「コイン・硬貨・紙幣・切手」がトップ。
- ◆ ルールの認知が高い競技ほど、国際スポーツイベントの観戦意向も高くなる傾向にある。
- ◆ 国際スポーツイベント開催時に追加してほしい競技は、「野球・ソフトボール」が突出(53.7%)。男性や年代が上がるほど、その傾向が強い。

国際スポーツイベントの興味度

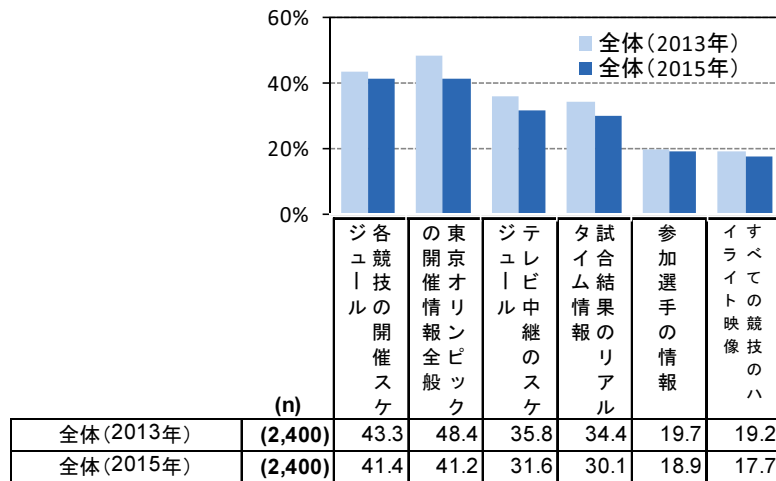
(n)	興味度 (%)						興味がある計	
	非常に興味がある	まあ興味がある	どちらともいえない	あまり興味がない	興味がない	まったく興味がない		
全体(2013年)	(2,400)	17.1	24.5	28.3	7.6	10.73	18.7	70.0
全体(2015年)	(2,400)	15.8	21.0	28.3	9.3	11.74	69.3	65.0

※「興味がある計」は、「非常に興味がある」～「まあ興味がある」の小計。

ルールを知っている競技×国際スポーツイベントで観戦してみたい競技



国際スポーツイベントについて知りたい情報(上位6項目)



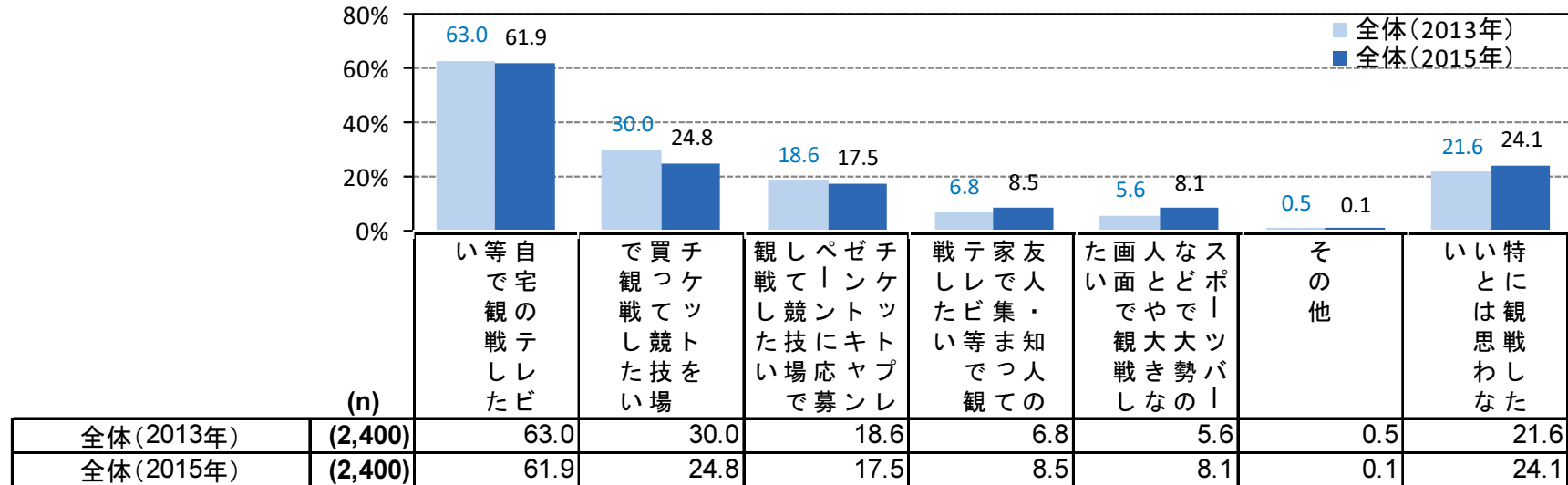
※全体(2015年)で降順ソート。

調査結果要約

国際スポーツイベントの観戦方法

- ◆ 国際スポーツイベント開催時は、過半数がテレビを観ることが「増えると思う」と回答。
- ◆ 国際スポーツイベントの観戦方法として、「自宅のテレビ等で観戦したい」がトップ。前回（東京での開催が決まった直後の2013年）と比較すると、競技場での観戦意向はやや減少した。

国際スポーツイベントの観戦方法



※全体(2015年)で降順ソート